

豊岡市地方創生総合戦略

第3版（案）



平成 27～31 年度
(2015～2019 年度)

平成 29 年 6 月 日

兵庫県 豊岡市

も く じ

I	人口予測と分析	・・・・・・・・	1
1	人口予測（基準推計人口）	・・・・・・・・	1
2	人口減少の要因	・・・・・・・・	2
3	人口減少による地域への影響	・・・・・・・・	3
II	地方創生総合戦略	・・・・・・・・	4
1	人口減少トレンドの緩和	・・・・・・・・	4
(1)	人口減少抑制対策の柱	・・・・・・・・	4
(2)	2040年の目標人口（人口ビジョンから）	・・・・・・・・	4
2	進行する人口減少下における地域活力の維持	・・・・・・・・	6
3	人口減少の緩和と緩和策を通じた地域活力の維持 （ローカル＆グローバルの可能性）	・・・・・・・・	6
4	豊岡市地方創生総合戦略体系図	・・・・・・・・	7
	移住・定住促進に係る戦略体系図	・・・・・・・・	8
	結婚促進・多子出産促進に係る戦略体系図	・・・・・・・・	9
5	戦略の期間	・・・・・・・・	10
6	戦略の推進体制	・・・・・・・・	10
7	移住・定住促進に係る戦略	・・・・・・・・	11
8	結婚促進・多子出産促進に係る戦略	・・・・・・・・	24

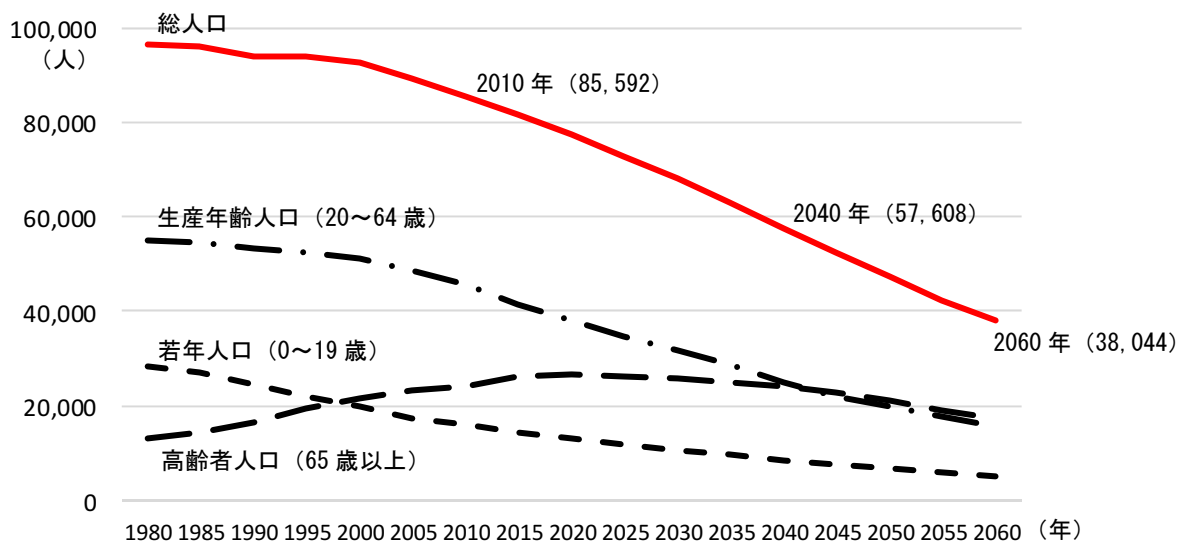
I 人口予測と分析（人口ビジョンから）

1 人口予測（基準推計人口）

豊岡市の人口は、今後減少のペースを加速し、2010年に85,592人であったものが2040年には57,608人（2060年には38,044人）になると推計されている（この推計人口を戦略の「基準推計人口」とする）。

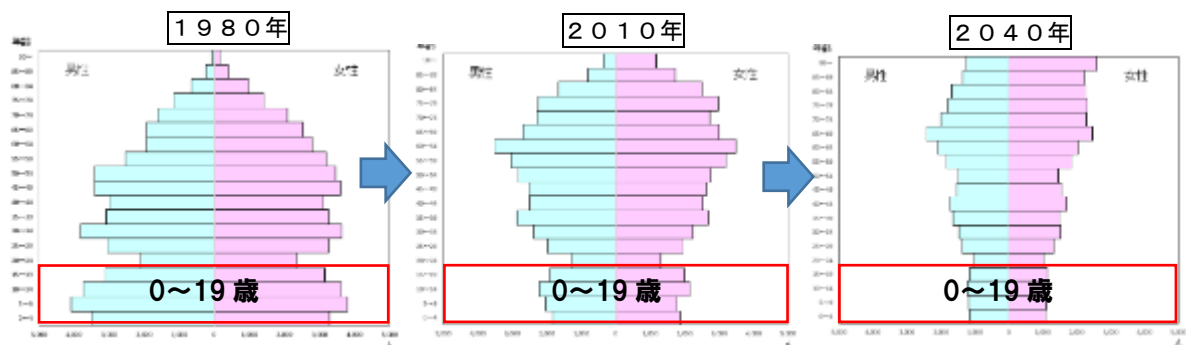
その減少率はとりわけ0歳から19歳の若年人口で大きく、人口減少は今後さらなる少子・高齢化を伴いながら進み、2040年には、1人の高齢者を生産年齢人口1.0人（2060年には0.9人）で支える人口年齢構造になると予測されている（図1、2）。

【図1】 総人口と年齢3区分別人口の推移（1980～2060年）



（出典：1980～2010年は総務省統計局「国勢調査」，2015年以降は内閣官房まち・ひと・しごと創生本部事務局提供人口推計ワークシート（CD-ROM）により作成した独自推計）

【図2】 豊岡市の人口ピラミッドの推移（1980、2010、2040年）



（出典：国勢調査）

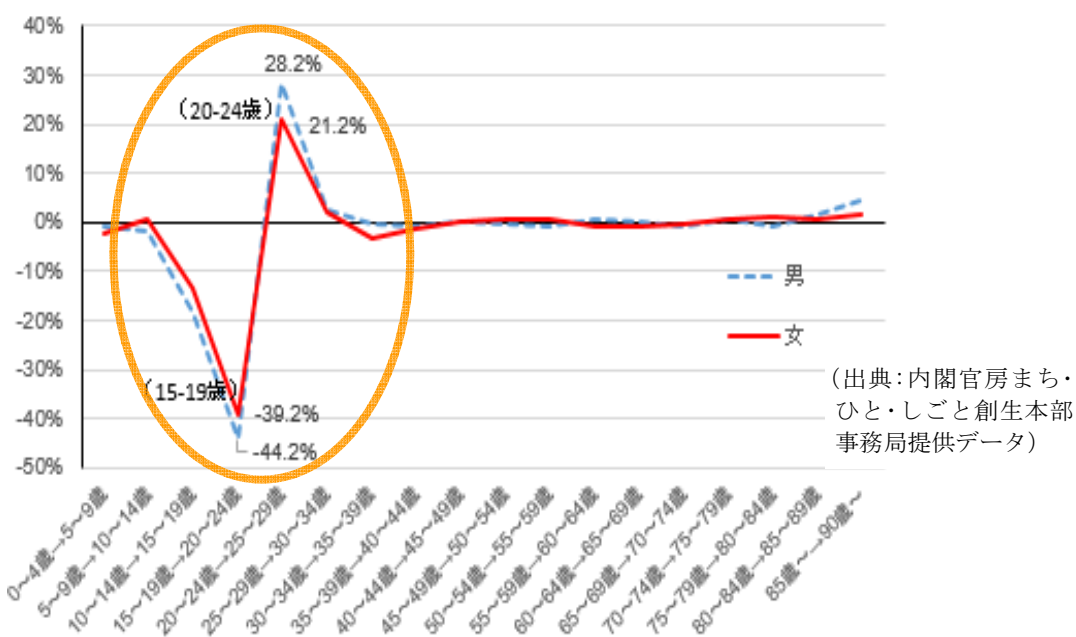
2 人口減少の要因

豊岡市の人口移動は、①ほとんどの年齢層で転入・転出の数がほぼ均衡しているのに対し、②高校卒業後の就職・進学期（15～19 歳）に大きく転出超過が見られ、③逆に専門学校・大学卒業後の就職期（20～24 歳）に大きな転入超過となっているが、④15～24 歳のトータルとしては、大幅な転出超過となっている（図3）。

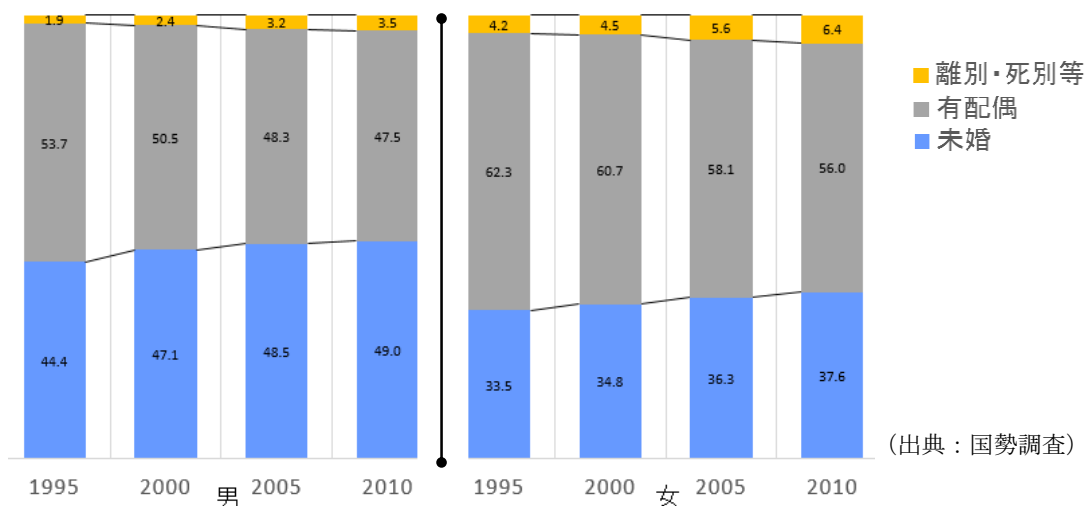
加えて、未婚率が上昇している（図4）ことから、出産適齢期の夫婦の数が減少して出生数が低下するとともに、その減少した子どもたちが成長して大学等に進む段階でまた転出超過になる、という悪循環にある。

他方で、近年、有配偶者女性 1 人当たりからの出生数は減少していないと推定できる（図5）ことから、今後急速に進む豊岡市の人口減少の主な要因は、上述の若者の転出超過と未婚率の上昇にあると考えられる。

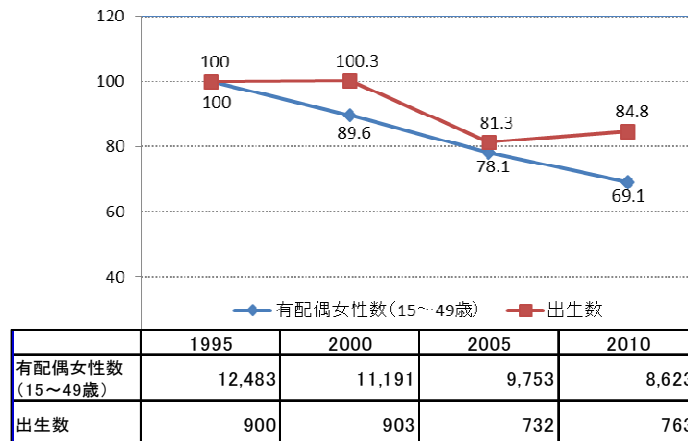
【図3】 年齢性別・純移動率（2005→2010 年）



【図4】 男女別 未婚率・有配偶者率等の推移（15～49 歳／1995～2010 年）



【図5】 有配偶者女性数（15～49歳）と出生数の推移



※1995年を起点（100%）としたときの率で表示

有配偶者女性数の減少率ほどには出生数は減少していない。

（出典：国勢調査、兵庫県統計課「兵庫県の人口の動き」）

3 人口減少による地域への影響

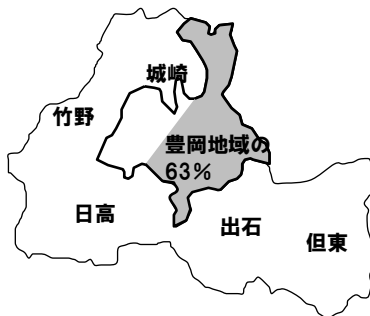
2040年までの28,000人近い人口減少は、現在の「豊岡地域の63%」、「城崎・竹野・日高・但東地域のすべて」又は「城崎・日高・出石地域のすべて」の人口が消滅する事態に匹敵する（図6）。

しかも、この人口減少はさらなる少子・高齢化を伴いながら進行することから、推計のとおり人口減少が進むとすると、豊岡市は、コミュニティの崩壊・消滅、公共交通網の崩壊、地域経済の衰退、財政悪化に伴う行政サービスの低下、医療・介護などの社会保障費の増大等、深刻な打撃を受けることが明らかである。

今年生まれた子どもたちが25歳で生きる豊岡は、そのような人口減少社会である。

【図6】 人口減少の破壊力イメージ（灰色の地域に相当する人口が消滅する）

① 豊岡地域の63%が消滅



② 城崎・竹野・日高・但東地域のすべてが消滅



③ 城崎・日高・出石地域のすべてが消滅



豊岡市の人口

地域名	人口
豊岡	44,600人
城崎	3,800人
竹野	4,900人
日高	17,200人
出石	10,300人
但東	4,700人
豊岡市計	85,500人

（出典：2010年国勢調査）

Ⅱ 地方創生総合戦略

1 人口減少トレンドの緩和

(1) 人口減少抑制対策の柱

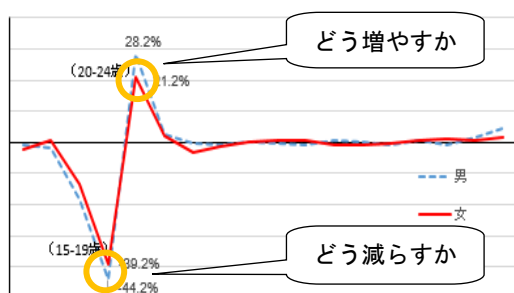
人口減少対策は、これまでも過疎対策等、様々になされてきた。しかしその多くは、人口減少を前提にした上でその悪影響にどう立ち向かうかという、いわば適応型の対策であった。

私たちは、今後予測される人口減少の圧倒的な量の破壊力を直視し、将来世代のために、何よりもまず人口減少の抑制を全力で図らなければならない（量的緩和）。

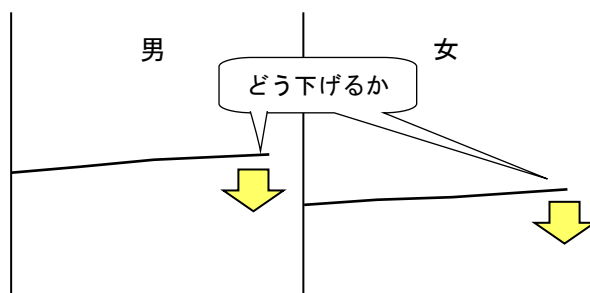
具体的には、前述の豊岡市における人口減少の要因分析に基づき、減少要因そのものに手を付けることとし、定住する若者を増やすこと（若者の定住促進。図3-2）と結婚する若者を増やすこと（未婚率の抑制。図4-2）を対策の柱に据えることとする。

また、市民アンケート調査によれば、理想の子ども数（2.5人）と実際の子ども数（2.0人）に差があることから、理想と実際の差を埋める対策についても検討を行う。

【図3-2】 年齢性別・純移動率



【図4-2】 男女別・未婚率



(2) 2040年の目標人口（人口ビジョンから）

人口減少の要因分析に基づき、達成可能性も考慮して、次のとおり量的緩和に関する目標を設定する。

ア 合計特殊出生率を現在の1.82（2008～2012年の5年間を基にしたベイズ推定値）を2035年までに2.3に引き上げる。

イ 若者回復率を現在の35%を2025年までに50%に引き上げる。

* 若者回復率：10歳代の転出超過数に対して20歳代の転入超過者数が占める割合。

ウ これらのことによって得られる2040年における推計値を「政策目標人口」として設定する（表1及び図7）。 **政策目標人口（2040年）＝62,165人**

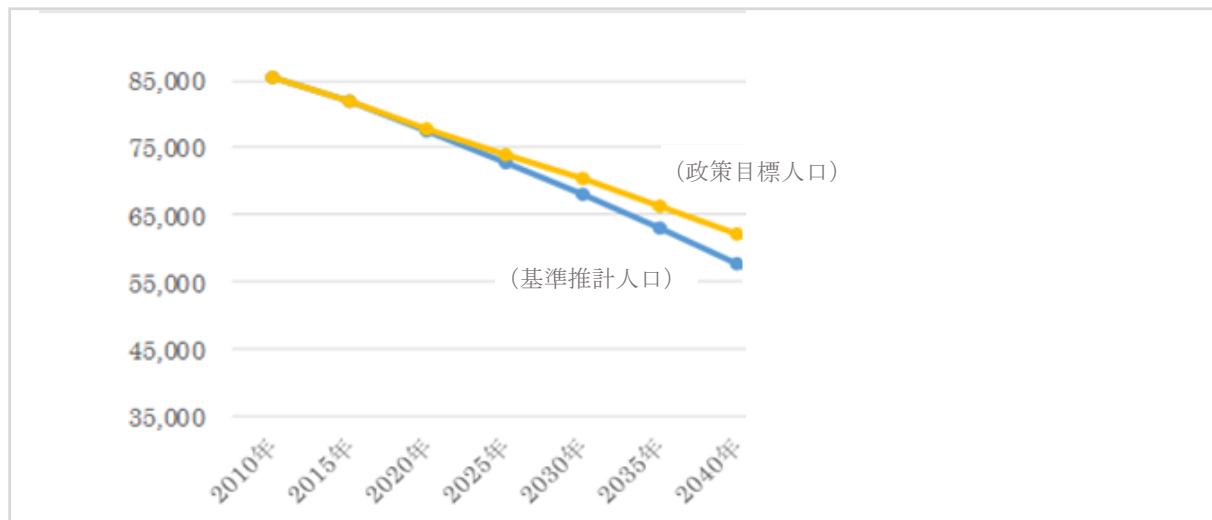
なお、2040年段階での緩和数は小さなものであるが、その意義を過小評価してはならない。2060年段階では基準推計人口に対し8,897人の緩和効果が見込ま

れる。私たちは、将来世代のために、長期的視点に立って緩和策を進める必要がある。

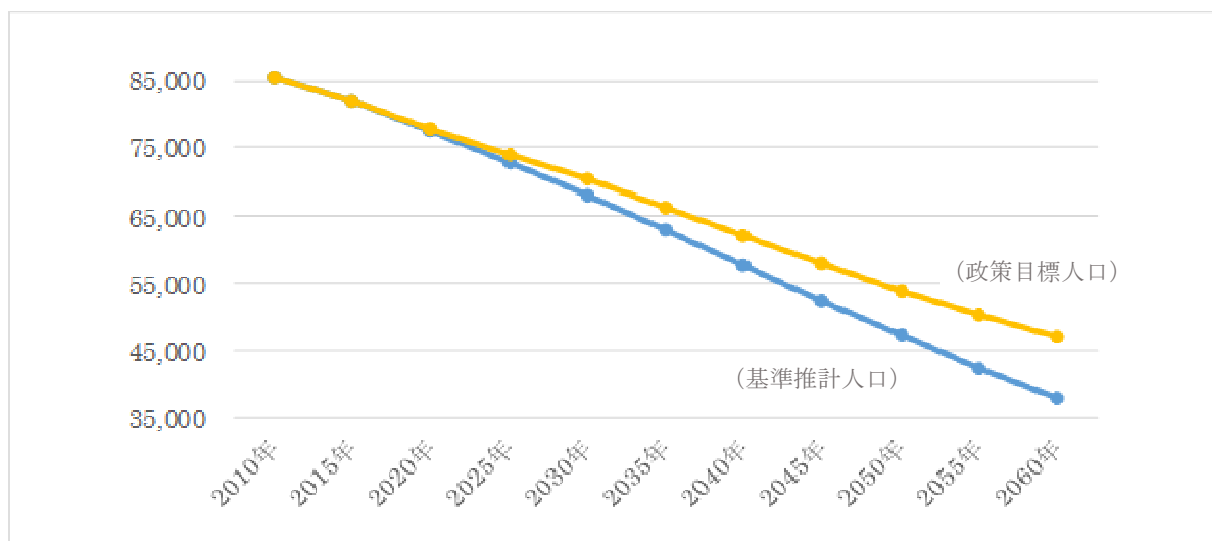
【表1】 合計特殊出生率・若者回復率に関する目標値の総人口推計への反映

	2010年	2015年	2020年	2025年	2030年	2035年	2040年	人口減少抑制効果 2040年
基準推計人口	85,592	81,843	77,476	72,818	67,997	62,940	57,608	
政策目標人口	85,592	81,843	77,898	74,085	70,327	66,417	62,165	+4,557

【図7】 合計特殊出生率及び若者回復率に関する目標値の達成による総人口推計



【図8】 図7のグラフを2060年まで伸ばした場合



2 進行する人口減少下における地域活力の維持

現在の人口構造、社会移動、出生率の現状等を踏まえると、減少をゼロにすることは、長期にわたって不可能である。それどころか、人口ビジョンで明らかになったとおり、量的緩和策が功を奏したとしても、その2040年段階での効果は、2010年と比べた推計減少人口27,984人に対し4,557人の緩和と小さなものである（図7）。人口減少は依然として続き、地域活力を削ぐ力が今後も増大し続けることを覚悟しなければならない。

そこで、人口減少トレンドの極力の緩和に加えて、それでもなお続く人口減少下において地域活力を維持する対策を同時に進める必要がある。地域活力の減退を人口減少の単なる量的緩和だけではとてもカバーできないとすると、地域社会・地域経済・地域文化のあり様の質的転換による地域活力の維持を同時に追い求めるほかはない。

しかも、私たちが今後投入できる資源を考えると、量的緩和策を通じて質的転換を同時に図るよう戦略を立てる必要がある。

3 人口減少の緩和と緩和策を通じた地域活力の維持（ローカル&グローバルの可能性）

若者が地方を去り大都市へと流れる背景に、「社会的・経済的・文化的に豊かな大都市と貧しい地方」という強いイメージがあることが指摘されている。のみならず、「地方は貧しく、つまらない」というそのイメージは、現に地方に住んでいる人々をもとらえ、自らのまちに対する誇りの空洞化と活力の低下をもたらしてきたことも指摘されている。豊岡についても同様のことが言える。

一方、近年、人と人、人と自然など「つながり」の希薄な大都市の暮らしに「空虚さ」を感じ、「つながり」を実感できる地方の暮らしに「豊かさ」を見て取る若い人たちが増えていることも報告されている。

しかも地方には、農林水産業や伝統産業など地方でこそできる仕事に加え、ICTの浸透によって地方でもできる仕事が増えつつあり、仕事も含めた、大都市とは別の豊かさを実感できる、成熟したライフスタイルの展開可能性が広がっている。

豊岡でも全く同様のことが言える。

グローバル化の進展も大きな可能性をもたらしている。

グローバル化の特徴の一つは、世界に同じ基準を適用して、世界を同じ商品、同じ店舗、同じ景色で満たしていくことにある。グローバル化の進展によって、急速に世界が同じ顔になりつつある中で、逆に、ローカルであること、地域性・固有性が輝くチャンスを持ち始めている。ICTの発達によって、地方も直接に世界の人々と結ばれることが可能になった今、地方における「豊かな暮らし」と「やりがいのある仕事」の可能性が出てきている。

豊岡でも、コウノトリの野生復帰が世界的評価を得、コウノトリ育むお米は輸出の取り組みが始まり、伝統的街並みの城崎温泉を中心に豊岡全体で外国人宿泊客数が急増する

など、世界とのつながりが顕著になってきている。また、城崎国際アートセンターには世界各国から優れたアーティストが訪れ、芸術文化の分野でも豊岡は世界と直接に結ばれ、人々を惹きつけ始めている。ローカル＆グローバルの視点は、豊岡の有力な活性化戦略となりうる。

こうしたチャンスを活かし、「豊岡には大都市とは別の価値観に基づく豊かな暮らしとやりがいのある仕事がある」ことを自覚的にとらえて豊岡で暮らし、働く若者の増加を図ることができれば、人口減少の緩和につながることはもちろん、地域社会・地域経済・地域文化のあり様と豊岡の人々の自己イメージを変え、新たな地域活力の創造へとつながっていく可能性がある。

なお、都市での経験から得られたノウハウ、センス、ネットワークを持つ多様な人々の移住や関与は、その年齢を問わず、豊岡の「素材」を磨いて、国内外への通用力を高める可能性を有している。それは豊岡の魅力がさらに高まり、若者を惹きつける力ともなりうることから、戦略の策定・推進にあたって十分留意する必要がある。

4 豊岡市地方創生総合戦略体系図

以上のことを踏まえ、人口減少のスピードを極力和らげるとともに、その対策を通じて、なお進む人口減少下にあっても地域活力を維持できるよう、「豊岡市地方創生総合戦略」を策定し、実行することとする。

そこに示す豊岡市における地方創生のシナリオは、次のとおりである。

- (1) 豊岡に住む人々が「豊岡で暮らすことの価値と魅力」を改めて探り、認識する。
- (2) その価値と魅力をさらに高める。特に、これまで進めてきた「小さな世界都市」＝「豊岡で世界と出会う」の実現に向けた取組みを加速し、世界と直接に結ばれる中で豊岡の価値と魅力をさらに高める。
- (3) 豊岡で暮らすことの価値と魅力を若者や子どもたちに伝え、移住・定住を促し、共感して移住・定住をする若者を増やす。
- (4) あわせて「多くの子どもでにぎやかな家庭を持つ若者」を増やす対策を進める。
- (5) 以上の取組みによって「人口減少の量的緩和と地域社会・地域経済・地域文化のあり様の質的転換」を同時に図り、豊岡に暮らす価値を認め、豊岡で暮らすことに自信と誇りを持って住む人々からなるまちとして豊岡を蘇えらせ、地域活力の維持を図る。

戦略の策定・実行にあたっては、本市が戦略的政策評価で用いているロジック・モデルの手法（目指す姿を明確にしたうえで、目的達成に強い因果関係を持つ手段を選択して体系化し（以下「戦略体系図」）、体系そのものをPDCAサイクルで検証する手法）を用いる。なお、戦略体系図に4桁の番号を付している手段（4桁手段）を達成するための具体的事業（6桁手段）を記載した戦略体系図は、11ページ以降に添付している。

【移住・定住促進に係る戦略体系図】

上位目的	豊岡に暮らす価値を認め、豊岡で暮らすことに自信と誇りを持って 住む人が増えている
戦略目的A	暮らすなら豊岡と考え、定住する若者が増えている
主要手段 A01	豊岡の暮らしの「豊かさ」が内外に知られている（情報発信）
01-01	様々なメディア等で豊岡が取り上げられている
01-02	WEB や SNS 等で豊岡の情報が共有されている
01-03	豊岡の魅力を語る人々が世界中にいる
01-04	豊岡を巣立った人たちが豊岡とつながっている
01-05	定住を検討する人に寄り添って、情報が提供されている
主要手段 A02	人々が豊岡の「豊かな暮らし」を楽しんでいる（高付加価値・成熟化）
02-01	やりがいと安定した収入が得られる仕事が増えている
02-02	新たな事業や仕事にチャレンジする人が増えている
02-03	人とつながり、支え合う喜びを感じる人が増えている
02-04	自然とのつながりを楽しむ人が増えている
02-05	自分の時間を持ち、暮らしを楽しむ人が増えている
02-06	外から豊岡とつながり、行き来する関係人口が増えている
主要手段 A03	豊岡で人々が世界と出会っている（ローカル＆グローバル）
03-01	世界中から人々が来訪し、豊岡を楽しんでいる
03-02	メイドイン豊岡が世界に広がっている
03-03	国内外から優れた人材が集まり、豊岡の魅力を高めている
03-04	世界の人々と対等に向き合う人材が増えている
主要手段 A04	子どもたちのふるさとへの愛着が育まれている（次世代育成）
04-01	子どもたちが豊岡のことをよく知っている
04-02	子どもたちが様々なコミュニティの中で役割を果たしている
04-03	子どもたちが豊岡で外国人とのコミュニケーションを楽しんでいる
04-04	子どもたちの想像の翼、行動の翼が世界に羽ばたいている

【結婚促進・多子出産促進に係る戦略体系図】

上位目的	豊岡に暮らす価値を認め、豊岡で暮らすことに自信と誇りを持って住む人が増えている
戦略目的B	多くの子どもでにぎやかな家庭を持つ若者が増えている
主要手段 B01	若い夫婦の数が増えている
01-01	多種多様な出会いの機会が充実している
01-02	交際・結婚に向けた独身者へのきめ細かな支援体制が充実している
01-03	若者が集い、交流する場が増えている
主要手段 B02	夫婦一組あたりの子どもの数が増えている
02-01	出産を支える仕組みが整っている
02-02	子育てを支える仕組みが整っている
02-03	女性も働きやすい環境が広がっている
02-04	まちを挙げて子どもたちの育ちを応援している

＊「上位目的」：この戦略において長期的に実現したい状態

「戦略目的」：この戦略において5年程度で達成したい状態

「主要手段」：戦略目的を実現するための主要な手段（2桁）

※ 4桁番号の手段は、主要手段を実現するための具体的な手段

＊戦略策定・遂行にあたっての留意事項

- ① 戦略及び個々の事業自体の有効性を、事前にしっかりと評価すること。
- ② 情報戦略の実施にあたっては、UターンとIターンで相手方に訴える内容・手段が異なることを踏まえること。
- ③ Iターンでは、先輩移住者の生の声を聞けることが移住検討者にとって安心感につながるので、その仕組みを構築すること。
- ④ 体験ツアー、インターンシップ、ホームステイ、動画の活用等心に残る訴えかけに留意すること。
- ⑤ 移住後も移住者が孤立することがないように、ネットワークを構築すること。
- ⑥ この戦略は人口減少の主要要因が若者の減少であるとの分析に基づきその直接のターゲットを若者に絞っているが、「豊岡で暮らすことの価値と魅力」をさらに高めるうえで、都市で経験とノウハウを積んだ中高年者の果たし得る役割が大きいことに留意し、作戦を練ること。
- ⑦ 次世代育成においては、歴史や伝統に加え、コウノトリ、ジオパーク等豊岡の最先端の取組みについても

教えること。

- ⑧ 市民アンケート調査によれば、理想の子ども数を持たない理由として「経済的理由」が大きな要素として挙げられているが、経済的理由への対処には公的支援だけでなく、女性が働きやすい環境整備も重要であることに留意すること。
- ⑨ 市民アンケート調査によれば三世帯同居世帯の平均子ども数が 2.22 人であるのに対し、非同居世帯は 1.98 人である。非同居世帯のうち親世代が近くにいない世帯を除くと、非同居世帯の子ども数はさらに小さくなることが予測されることから、特にこれらの世帯への支援策を充実すること。
- ⑩ 今後とも様々な統計やアンケート結果等の分析を踏まえながら、戦略の遂行、見直しを行うこと。

5 戦略の期間

この戦略の期間は、平成 27 年度から平成 31 年度（2015 年度から 2019 年度）までの 5 年とする。

現戦略は絶えざる見直しを行いながら進め、次期の戦略へとつなげる。

6 戦略の推進体制

- (1) 人口減少対策は、強い意志の下に、長期にわたって継続的かつ総合的に実施される必要がある。このため、戦略遂行の全体を把握・統轄する組織を市に設置するとともに、関係部署との連携体制を整える。

この組織には、分析と意思決定を支援する外部の優れた人材や組織の協力を得る体制を整備するものとする。

- (2) 戦略目的を達成するためには、戦略及び戦略に盛り込まれる個々の事業の策定及び実施にあたって、関係する市民・企業・団体・行政の協働が不可欠であることから、協働の推進体制を整える。

戦略目的 A「暮らすなら豊岡と考え、定住する若者が増えている」に基づく事業・指標

上位目的	豊岡に暮らす価値を認め、豊岡で暮らすことに自信と誇りを持って住む人が増えている	
戦略目的 A	暮らすなら豊岡と考え、定住する若者が増えている	【指標】 社会増減の緩和（転入－転出）
主要手段－具体的手段		事業（該当する事業が再掲事業のみである場合、〔再掲〕で記載）
重要業績評価指標（KPI）		
手段 A 01	豊岡の暮らしの「豊かさ」が内外に知られている（情報発信）	
01-01	様々なメディア等で豊岡が取り上げられている	豊岡エキシビション、メディア・旅行エージェント招聘事業（※）
01-02	WEB や SNS 等で豊岡の情報が共有されている	移住定住促進プロモーション戦略（ホームページ内容更新、Facebook 広告等）、Uターン就職情報発信（ジョブ 豊岡、成人式を起点とした情報発信等）
01-03	豊岡の魅力を語る人々が世界中にいる	アーティスト・イン・レジデンス、ディレクター等の配置（KIAC）〔再掲〕
01-04	豊岡を巣立った人たちが豊岡とつながっている	企業研究会・合同企業説明会、25歳同窓会
01-05	定住を検討する人に寄り添って、情報が提供されている	移住定住促進（ワストップ 窓口、現地案内人、豊岡暮らし体験住宅）、豊岡移住相談会（合同移住フェア出展、テーマ別体験会）、飛んでるローカル編集部支援（ホームページ記事を投稿する編集部支援等）
手段 A 02	人々が豊岡の「豊かな暮らし」を楽しんでいる（高付加価値・成熟化）	
02-01	やりがいと安定した収入が得られる仕事が増えている	革製靴・革小物生産能力育成、靴Uターン促進、環境経済事業（販路拡大）、IT企業立地支援、企業立地事業者工場等賃借料補助金、企業立地促進条例による奨励金、豊岡市工業会ものづくりIT研究会支援、コウノトリ育む農法無農薬栽培推進、コウノトリ育むお米ブランド化推進
02-02	新たな事業や仕事にチャレンジする人が増えている	新規就農総合支援、豊岡農業スクール、靴縫製者トレーニング（※）、空き店舗等開業支援補助金、コワーキング豊岡運営（※）、豊岡稽古堂塾、地域プロデューサーの配置、Uターン者向けシェアハウス整備推進
02-03	人とつながり、支え合う喜びを感じる人が増えている	図書館機能拡充事業
02-04	自然とのつながりを楽しむ人が増えている	コウノトリ野生復帰推進、子どもの野生復帰〔再掲〕
02-05	自分の時間を持ち、暮らしを楽しむ人が増えている	文化芸術振興計画策定、ディレクター等の配置（KIAC）、文化芸術創造交流（Toyooka Art Season2017）、文化芸術創造交流（市民参加の演劇、演劇ワークショップ）、芸術文化情報発信（市民講座＆ワークショップ、学校へのアーティスト特別派遣）、永楽館歌舞伎、芸術文化担当参与の設置
02-06	外から豊岡とつながり、行き来する関係人口が増えている	城崎国際アートセンター自主事業
手段 A 03	豊岡で人々が世界と出会っている（ローカル＆グローバル）	
03-01	世界中から人々が来訪し、豊岡を楽しんでいる	外国人観光客プロモーション（広告配信、旅行博出展等）、観光地マーケティング（国内・外国人のデータ収集、分析、戦略立案）、夢但馬周遊バス運営（※）、京都丹後鉄道特急車両改修（※）、東京直行便実現、城崎温泉街交通環境改善、円山川サイクリングロード整備
03-02	メイドイン豊岡が世界に広がっている	コウノトリ育むお米海外販売推進、アーティスト・イン・レジデンス〔再掲〕
03-03	国内外から優れた人材が集まり、豊岡の魅力を高めている	専門職大学の誘致
03-04	世界の人々と対等に向き合う人材が増えている	観光地マーケティング〔再掲〕
手段 A 04	子どもたちのふるさとへの愛着が育まれている（次世代育成）	
04-01	子どもたちが豊岡のことをよく知っている	おっとりっしゃ！とよおかのものづくり（※）、ふるさと教育、子どもの野生復帰、Uターン意識向上戦略
04-02	子どもたちが様々なコミュニティの中で役割を果たしている	ふるさと教育（但東中学校商業体験活動）
04-03	子どもたちが豊岡で外国人とのコミュニケーションを楽しんでいる	コミュニケーション教育、英語教育、英語遊び保育、豊岡の未来を創る高校生支援（高校生の海外派遣）
04-04	子どもたちの想像の翼、行動の翼が世界に羽ばたいている	大韓民国・アメリカ・モンゴルとの交流、子どもたちが豊岡で世界と出会う音楽祭（※）

（※）は市以外の団体の主催事業

戦略目的 B「多くの子どもでにぎやかな家庭を持つ若者が増えている」に基づく事業・指標

上位目的	豊岡に暮らす価値を認め、豊岡で暮らすことに自信と誇りを持って住む人が増えている		
戦略目的 B	多くの子どもでにぎやかな家庭を持つ若者が増えている		【指標】 出生数、合計特殊出生率
	主要手段－具体的手段	事業	指標
手段 B 01	若い夫婦の数が増えている		婚姻数
01-01	多種多様な出会いの機会が充実している	婚活応援プロジェクト「はーとピー」への補助 民間団体への婚活・恋活イベント開催補助 出会いサポート企業推進	出会い交流機会の参加者数
01-02	交際・結婚に向けた独身者へのきめ細かな支援体制が充実している	社会福祉協議会の結婚相談所機能拡充 ボランティア仲人養成	交際・結婚支援のしくみを利用している人数
01-03	若者が集い、交流する場が増えている	SNS を活用した出会いにつながる情報発信	集い、交流する場の情報を入手している人数
手段 B 02	夫婦一組あたりの子どもの数が増えている		児童手当世帯当たりの児童数 (中学生以下／公務員を除く児童手当受給者)
02-01	出産への応援がある	子育て世代包括支援センター 産前・産後サポート事業 産後ケア事業(宿泊型、訪問型) 特定不妊治療費助成・不育症治療費助成	産後、助産師や保健師等から指導・ケアを十分に受けることができたと考える母親の割合
02-02	育児への応援がある	子育て世代包括支援センター〔再掲〕 ファミリーサポートセンター	市の子育て支援サービスを活用、または頻繁に活用している小学生以下の子どもがいる世帯の割合
02-03	仕事の両立への応援がある	ファミリーサポートセンター〔再掲〕	保育所の待機児童数 放課後児童クラブの待機児童数
02-04	パートナーの応援(理解と協働)がある	子育てセンターの交流事業「パパとあそぼうデー」など	パートナーは育児をよくやっていると思う母親の割合
02-05	まちを挙げた子育てへの応援がある	子育て広場整備 こども支援センター機能拡充 FMジャングル夢チャレンジ	子育てを支援する活動に関わっている市民の割合 周りの人が子育てを応援してくれる環境が、豊岡で暮らす価値や魅力と考える市民の割合

移住・定住促進に係る戦略 （戦略体系A）

1 移住・定住促進に係る戦略

(1) 基本目標（各項目の目標値は2019年（度）時点とする）

戦略目的A	暮らすなら豊岡と考え、定住する若者が増えている		
	指標	基準値	目標値
人口の社会増減の緩和（転入－転出） （※兵庫県市町別毎月人口推計調査1～12月）		△313人（2014年） （転入1,762人 －転出2,075人）	△281人

(2) 講ずべき施策に関する基本的方向

- ア 豊岡に住む人々が「豊岡で暮らすことの価値と魅力」を改めて探り、認識する。
- イ その価値と魅力をさらに高める。特に、これまで進めてきた「小さな世界都市」＝「豊岡で世界と出会う」の実現に向けた取組みを加速し、世界と直接に結ばれる中で豊岡の価値と魅力をさらに高める。
- ウ 豊岡で暮らすことの価値と魅力を若者や子どもたちに伝え、移住・定住を促し、共感して移住・定住をする若者を増やす。

(3) 主要手段・具体的手段、重要業績評価指標及び事業（※は市以外の団体の主催事業）

主要手段A01 （2桁）	豊岡の暮らしの「豊かさ」が内外に知られている（情報発信）		
	重要業績評価指標（KPI）	基準値	目標値
	豊岡と移住に関する単語を組み合わせた語句の検索数 「豊岡__移住 or 就職 or Uターン or Iターン or 暮らし or 仕事」	980件 （2014年度）	1,800件

主要手段を実現するための具体的手段A01-01 （4桁）	様々なメディア等で豊岡が取り上げられている		
	重要業績評価指標（KPI）	基準値	目標値
	豊岡に関する情報が、テレビ、雑誌、WEBマガジン等に取り上げられた回数	45件（2014年度）	90件

具体的手段を実現するための事業		事業概要	担当課
A01-01-01	豊岡エキシビション	メディア等を対象に豊岡市の取組みを紹介するイベントを東京で開催し、豊岡市への取材につなげる。	大交流課
A01-01-02	メディア・旅行エージェント招聘事業（※）	豊岡市の取組み・観光地への取材とメディア掲載を増やすため、招聘者の取材地までの経費負担、取材先調整、取材同行を実施する。	大交流課 （豊岡ツーリズム協議会）

主要手段を実現するための具体的手段 A01-02 (4 桁)	WEB や SNS 等で豊岡の情報が共有されている		
	重要業績評価指標 (KPI)	基準値	目標値
	Facebook「大好き豊岡応援隊」いいね済数	2,839 件 (2014 年度)	4,894 件
	豊岡市移住定住ポータルサイト 閲覧数	18,000 件 (2015 年度)	36,000 件

具体的手段を実現するための事業		事業概要	担当課
A01-02-01	移住定住促進プロモーション戦略 (ポータルサイト内容改善・更新、Facebook 広告、ポスター作成)	プロモーション戦略の全体プロデュース、ポスター等制作やポータルサイトの定期的な改善、コンテンツの追加、Web 等での広告を行う。	エコバレー推進課
A01-02-02	Uターン就職情報発信 (ジョブナビ豊岡、成人式を起点とした情報発信、就活応援ブック)	①市内企業の求職情報や豊岡で働く魅力を発信する。 ②成人式でつながりをつくるイベントを実施する。 ③市内企業の魅力や地元就職のメリット等を紹介する冊子を製作する。	エコバレー推進課

主要手段を実現するための具体的手段 A01-03 (4 桁)	豊岡の魅力を語る人々が世界中にいる		
	重要業績評価指標 (KPI)	基準値	目標値
	城崎国際アートセンター (KIAC) アーティスト・イン・レジデンス滞在者数 (累積)	501 人 (2014 年度)	1,366 人
	海外メディア (テレビ、雑誌、WEB マガジン等) 掲載数	6 件 (2014 年度)	26 件

具体的手段を実現するための事業		事業概要	担当課
A01-03-01	アーティスト・イン・レジデンス	選考によって選ばれた国内外の優れたアーティストが、城崎国際アートセンターに滞在し作品制作等を行う。	大交流課
A01-03-02	ディレクター等の配置 (KIAC) [再掲]	文化芸術に関する専門職を配置し、アートセンターの効果的な広報・運営等を行う。	大交流課

主要手段を実現するための具体的手段 A01-04 （4 桁）	豊岡を巣立った人たちが豊岡とつながっている		
	重要業績評価指標（KPI）	基準値	目標値
	市の指定する SNS（ソーシャルネットワーキングサービス）登録率（登録者数／登録者世代の 18 歳時の人口）	未着手	60％

	具体的手段を実現するための事業	事業概要	担当課
A01-04-01	企業研究会・合同企業説明会	大学生等を対象とした市内企業の合同説明会等を京阪神地域で実施する。	エコバレー推進課
A01-04-02	25 歳同窓会	市内の高校を卒業した満 25 歳になる人を対象とした同窓会を開催する。	エコバレー推進課

主要手段を実現するための具体的手段 A01-05 （4 桁）	定住を検討する人に寄り添って、情報が提供されている		
	重要業績評価指標（KPI）	基準値	目標値
	豊岡市移住定住ポータルサイト 閲覧数	18,000 件 (2015 年度)	36,000 件

	具体的手段を実現するための事業	事業概要	担当課
A01-05-01	移住定住推進 （ワンストップ窓口、現地案内人、豊岡暮らし体験住宅）	移住希望者への情報提供や住まい、仕事等のマッチングを行う総合窓口を充実させる。 移住希望者への現地案内、地域紹介を現地案内人に依頼する。	エコバレー推進課
A01-05-02	豊岡移住相談会 （合同移住フェア出展、テーマ別体験会）	都市部開催の合同移住フェアへ出展する。 親子運動遊びやコミュニケーション教育等特徴的な教育の体験会を開催する。	エコバレー推進課
A01-05-03	飛んでるローカル豊岡編集部支援 （ポータルサイト記事を投稿する編集部支援、ライター育成）	移住定住者向けポータルサイトの記事配信等を行う。 市民ライターの研修講座を行う。	エコバレー推進課

主要手段 A02 (2 桁)	人々が豊岡の「豊かな暮らし」を楽しんでいる（高付加価値・成熟化）		
重要業績評価指標（KPI）		基準値	目標値
「豊かな暮らし」を楽しんでいる市民の割合		46.4% (2016 年度)	55%

主要手段を実現するための具体的手段 A02-01 (4 桁)	やりがいと安定した収入が得られる仕事が増えている		
重要業績評価指標（KPI）		基準値	目標値
基盤産業（靴産業と宿泊業）における若手従業員の新規雇用（正社員）数		未計測	60 人

具体的手段を実現するための事業		事業概要	担当課
A02-01-01	革製靴・革小物生産能力育成	講師を招聘し、革製靴・革小物づくりの技術講習を行う。	エコバレー推進課
A02-01-02	靴 U I ターン促進	兵庫県靴工業組合が行う更なるブランド価値向上調査・PR に対し支援を行う。	エコバレー推進課
A02-01-03	環境経済事業（販路拡大）	アドバイザーを招聘し、スタートアップ・経営・販路拡大などの支援を行う。	エコバレー推進課
A02-01-04	I T 企業立地支援	市内の空き店舗等を活用し、市内に新たに I T 関連の事業所を開設する事業者に補助金を交付する。	エコバレー推進課
A02-01-05	企業立地事業者工場等賃借料補助金	事業者が、土地、建物もしくは機械設備を賃借して工場等を新增設する場合、又はオフィスビル等の建物を賃借して事務所、営業所等として利用する場合に賃借料の一部を補助する。	エコバレー推進課
A02-01-06	企業立地促進条例による奨励金	事業者が、土地、建物又は機械設備を購入等した場合に、雇用奨励金及び工場等設置奨励金を交付する。	エコバレー推進課
A02-01-07	豊岡市工業会ものづくり I T 研究会支援（※）	I T 技術導入等の講演会、先進企業見学会、勉強会等を開催する。	エコバレー推進課 （豊岡市工業会）
A02-01-08	コウノトリ 育む農法無農薬栽培推進	ポット成苗等を使用した無農薬栽培の実証試験の結果を踏まえて、マニュアルを作成する。 無農薬栽培にやる気のある農家の専用機械購入を支援する。	農林水産課
A02-01-09	コウノトリ 育むお米ブランド化推進	店舗等と連携して P R を行う。 高付加価値品種「いのちの壺」の商品開発と市場調査を行う。	農林水産課

主要手段を実現するための具体的手段 A02-02 (4 桁)	新たな事業や仕事にチャレンジする人が増えている		
	重要業績評価指標 (KPI)	基準値	目標値
	創業件数	14 件 (2014 年度)	25 件
	新規就農者数 (青年等就農計画の認定を受けた認定新規就農者及び豊岡農業スクール卒業生) (累積)	1 名 (2014 年度)	18 名

具体的手段を実現するための事業		事業概要	担当課
A02-02-01	新規就農総合支援	若手農家に対し、園芸用ハウスや農業用機械等整備費を助成する。 豊岡の農業を短期間体験できる場を提供する。	農林水産課
A02-02-02	豊岡農業スクール	就農意欲の高い若者に、必要な生産技術力、経営管理能力及び環境創造型農業を習得させる。	農林水産課
A02-02-03	靴縫製者トレーニング (※)	4 ヶ月間の靴縫製技術指導や靴企業へのインターンシップを実施する。	エコバレー推進課 (Toyooka K-site)
A02-02-04	空き店舗等開業支援補助金	市内の空き店舗等を活用して出店する者に対して、改修費等の一部を助成する。	エコバレー推進課
A02-02-05	コワーキング豊岡運営 (※)	コワーキングスペースを活用し、創業支援に関するイベントの開催やセミナー等を行う。	エコバレー推進課 ((一社) 但馬地域 地場産業振興セン ター)
A02-02-06	豊岡稽古堂塾	地域課題の解決や社会的事業の展開のために必要な、戦略的に考え効果的に実行する力を身に付けるセミナーを開催する。	エコバレー推進課
A02-02-07	地域プロデューサーの配置	地域課題の解決策を検討し、それぞれの地域の強みを生かした取組みを地域が地域プロデューサーとともに進めていく。	大交流課 (各振興局)
A02-02-08	I ターン者向けシェアハウス整備推進	空き家等を活用し、I ターン者が居住するシェアハウスの整備を推進する。	エコバレー推進課

主要手段を実現するための具体的手段 A02-03 (4 桁)	人とつながり、支え合う喜びを感じる人が増えている		
	重要業績評価指標 (KPI)	基準値	目標値
	「豊かな暮らし」を楽しんでいる市民の割合	46.4% (2016 年度)	55%

具体的手段を実現するための事業		事業概要	担当課
A02-03 -01	図書館機能拡充事業	市民の居場所と出番（役割・活動等）づくりなどのきっかけとなる談話スペース等の整備や図書館サポーター組織の設立等を行う。	生涯学習課

主要手段を実現するための具体的手段 A02-04 (4 桁)	自然とのつながりを楽しむ人が増えている		
重要業績評価指標（KPI）		基準値	目標値
「豊かな暮らし」を楽しんでいる市民の割合		46.4% (2016 年度)	55%

具体的手段を実現するための事業		事業概要	担当課
A02-04 -01	コウノトリ野生復帰推進	コウノトリ野生復帰を通じた自然再生と地域再生の取組みを、地域に深く根づかせるとともに、豊岡以外での取組みと連携し普及啓発を図る。	コウノトリ共生課
A02-04 -02	子どもの野生復帰〔再掲〕	子どもたちが、豊岡の生きものの多様性や先人の文化に触れる機会を提供する。	生涯学習課

主要手段を実現するための具体的手段 A02-05 (4 桁)	自分の時間を持ち、暮らしを楽しむ人が増えている		
重要業績評価指標（KPI）		基準値	目標値
「豊かな暮らし」を楽しんでいる市民の割合		46.4% (2016 年度)	55%

具体的手段を実現するための事業		事業概要	担当課
A02-05 -01	文化芸術振興計画策定	魅力あるまちづくりに文化芸術の果たす役割は大きく、その指針となる計画を策定する。	文化振興課
A02-05 -02	ディレクター等の配置 (KIAC)	文化芸術に関する専門職を配置して、アートセンターの効果的な広報・運営等を行う。	大交流課
A02-05 -03	文化芸術創造交流事業 (Toyooka Art Season2017)	文化施設などが連携して、演劇や音楽など多彩なジャンルのプログラムを展開し、文化芸術の創造性を通じて、市の魅力を内外に向け発信する。	文化振興課

A02-05-04	文化芸術創造交流事業 （市民参加の演劇、演劇ワークショップ）	プロの劇団俳優と市民演劇による地域密着型の作品を企画制作する。 長野県上田市（姉妹都市）の高校生と演劇による交流を行う。	生涯学習課 （NPO法人プラッツ）
A02-05-05	芸術文化情報発信（市民講座＆ワークショップ、学校へのアーティスト特別派遣）	介護や子育て等日常的な関心ごとと舞台芸術を結び付けて活動しているアーティストを招き、舞台芸術やアートが日常生活に活用できる可能性を提示する。 レジデンス・アーティストによる市内小・中学校での特別授業を実施する。	大交流課
A02-05-06	永楽館歌舞伎	出石永楽館において国内で評価の高い役者による歌舞伎の公演を行う。 平成29年度は、子どもたちに、本物の伝統文化に親しむ機会を提供するため、市内在住の小中学生・高校生を対象にチケット代金の一部を補助する。	出石振興局
A02-05-07	芸術文化担当参与の設置	「最先端の芸術文化による若者の誘引」戦略や芸術文化政策のアドバイザーとして平田オリザ氏を芸術文化担当参与に据え、豊岡のさらなる魅力アップを図る。	文化振興課

主要手段を実現するための具体的手段 A02-06 （4 桁）	外から豊岡とつながり、行き来する関係人口が増えている		
	重要業績評価指標（KPI）	基準値	目標値
	城崎国際アートセンター地域交流プログラム等自主事業への市外からの参加者数（累積）	2,226 人 (2015 年度)	4,800 人
	但馬空港助成利用件数（市内出身者及びその家族、ビジネス利用）	2,039 人 (2014 年度)	5,000 人
	城崎温泉駅乗客数（定期利用者以外）	313,346 人 (2015 年)	331,930 人

具体的手段を実現するための事業		事業概要	担当課
A02-06-01	城崎国際アートセンター自主事業	子どもたちや子育て世代を意識した公演やアーティストとともに作品を作りあげる企画を実施する。	大交流課

主要手段 A03 (2 桁)	豊岡で人々が世界と出会っている（ローカル＆グローバル）		
重要業績評価指標（KPI）		基準値	目標値
移輸出額（兵庫県市町民経済計算）		215,427 百万円 (2013 年度)	239,123 百万円

主要手段を実現するための具体的手段 A03-01 (4 桁)	世界中から人々が来訪し、豊岡を楽しんでいる		
重要業績評価指標（KPI）		基準値	目標値
外国人宿泊者数（人泊）		15,231 人泊 (2014 年度)	80,000 人泊

具体的手段を実現するための事業		事業概要	担当課
A03-01 -01	外国人観光客プロモーション (広告配信、旅行博出展等)	ターゲット市場に対する広告配信や旅行博出展、外国語版 Web サイトなどの効果的な運用により外国人観光客の誘客につなげる。	大交流課
A03-01 -02	観光地マーケティング (国内・外国人のデータ収集、分析、戦略立案)	位置情報ビッグデータ等を収集・分析し、その結果を活用した施策を展開するとともに、効果を定量的に検証する仕組みを導入する。	大交流課
A03-01 -03	夢但馬周遊バス運営事業 (※)	但馬内の各観光ポイントをルートとして、周遊バスを運行する。	大交流課 (但馬観光協議会)
A03-01 -04	京都丹後鉄道特急車両改修 (※)	特急車両のデザイン改修および機関部分のリニューアルを行う。	都市整備課 (京都丹後鉄道株式会社)
A03-01 -05	東京直行便実現	首都圏において、運航会社と協働で豊岡の魅力を伝える動画コンテンツの作成・配信等と、誘客をセットにしたプロモーションを実施するとともに、航空会社等への働きかけを継続して実施する。	都市整備課
A03-01 -06	城崎温泉街交通環境改善	地元を主体とした交通環境改善協議会を設置し、短期及び中長期施策の実現に向けた検討を行う。	建設課
A03-01 -07	円山川沿線サイクリングロード整備	河川管理道（堤防等）や県道等の一部を利用して、路面表示や案内標識を設置することにより、サイクリングロードとして整備する。	建設課

主要手段を実現するための具体的手段 A03-02 (4 桁)	メイドイン豊岡が世界に広がっている		
重要業績評価指標 (KPI)		基準値	目標値
製造品出荷額のうち直接輸出額 (工業統計)		未計測	基準値把握後に設定
海外におけるコウノトリ育むお米取り扱い店舗数		0 店 (2014 年度)	5 店

具体的手段を実現するための事業		事業概要	担当課
A03-02-01	コウノトリ育むお米海外販売推進	これまでの実績を踏まえ、海外でのイベントや商談会などに参加して、販路拡大を目指す。	農林水産課
A03-02-02	アーティスト・イン・レジデンス [再掲]	公募によって選ばれた国内外の優れたアーティストが、城崎国際アートセンターに滞在し作品制作等を行う。	大交流課

主要手段を実現するための具体的手段 A03-03 (4 桁)	国内外から優れた人材が集まり、豊岡の魅力を高めている		
重要業績評価指標 (KPI)		基準値	目標値

具体的手段を実現するための事業		事業概要	担当課
A03-03-01	専門職大学の誘致	兵庫県において有識者への意見聴取を含む専門職大学の構想策定に向けた検討が開始される。その検討をサポートするため必要となるニーズ調査や先進地事例調査等を行う。	大交流課

主要手段を実現するための具体的手段 A03-04 (4 桁)	世界の人々と対等に向き合う人材が増えている		
重要業績評価指標 (KPI)		基準値	目標値
外国人宿泊客を受け入れている宿泊施設の数 (Visit kinosaki 登録旅館数)		0 件 (2014 年度)	100 件

具体的手段を実現するための事業		事業概要	担当課
A03-04-01	観光地マーケティング〔再掲〕	位置情報ビッグデータ等を収集・分析し、結果を活用した施策を展開するとともに、効果を定量的に検証する仕組みを導入する。	大交流課

主要手段A04 （2桁）		子どもたちのふるさとへの愛着が育まれている（次世代育成）	
重要業績評価指標（KPI）		基準値	目標値
地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがある児童・生徒の割合		小 41.9% 中 32.9% （2015年度）	小 60%以上 中 60%以上

主要手段を実現するための具体的手段A04-01 （4桁）		子どもたちが豊岡のことをよく知っている	
重要業績評価指標（KPI）		基準値	目標値
地域や社会で起こっている問題や出来事に関心がある児童・生徒の割合		小 62.5% 中 56.3% （2015年度）	小 70%以上 中 70%以上

具体的手段を実現するための事業		事業概要	担当課
A04-01-01	おっとりっしゃ！とよおかのものづくり（※）	市内の小学生向けにものづくり企業の企業展示、ものづくり体験教室等を行う。	エコバレー推進課 （豊岡市工業会）
A04-01-02	ふるさと教育	ふるさと学習ガイドブックを活用してふるさとへの知識と愛着を育む授業を行う。	こども教育課 コウノトリ共生課 大交流課
A04-01-03	子どもの野生復帰	子どもたちが、豊岡の生きものの多様性や先人の文化に触れる機会を提供する。	生涯学習課
A04-01-03	Uターン意識向上戦略	高校3年間を通じて、先輩Uターン者を招いてのキャリア教育授業や市長による授業、企業見学会等を行う。	エコバレー推進課

主要手段を実現するための具体的手段 A04-02 （4 桁）	子どもたちが様々なコミュニティの中で役割を果たしている		
重要業績評価指標（KPI）		基準値	目標値
地域の行事に参加している児童・生徒の割合		小 92.1% 中 67.2% (2015 年度)	小 96%以上 中 75%以上

具体的手段を実現するための事業		事業概要	担当課
A04-02-01	ふるさと教育 （但東中学校商業体験活動）	但東中学校3年生が修学旅行の機会を利用して、東京交通会館で、「ふるさと豊岡の魅力」を発信する。	こども教育課

主要手段を実現するための具体的手段 A04-03 （4 桁）	子どもたちが豊岡で外国人とのコミュニケーションを楽しんでいる		
重要業績評価指標（KPI）		基準値	目標値
中学校卒業時の英語検定3級以上の合格者数		23.0% (2015 年度)	50.0%

具体的手段を実現するための事業		事業概要	担当課
A04-03-01	コミュニケーション教育	小学6年生と中学1年生において、演劇的な手法を取り入れたワークショップ型、双方向型のアクティブラーニングを行う。	こども教育課
A04-03-02	英語教育	小中学校に外国語指導助手を配置し、担任と連携した授業を行う。教員の英語の授業力向上研修会を実施する。	こども教育課
A04-03-03	英語遊び保育	就学前（4、5歳）の子どもたちを対象に、ゲームや歌など「遊ぶ」ことを中心としたレッスンを行う指導員を派遣する。	こども育成課
A04-03-04	豊岡の未来を創る高校生支援 （高校生の海外派遣）	豊岡総合高校の地域国際系列の生徒を対象に、ビクトリア市（カナダ）が主催する語学研修への参加費用を補助する。	こども教育課

主要手段を実現するための具体的手段 A04-04（4 桁）	子どもたちの想像の翼、行動の翼が世界に羽ばたいている		
	重要業績評価指標（KPI）	基準値	目標値
	国際交流事業等で海外に派遣した子どもの数（累積）	30 人（2014 年度）	165 人
	子どもたちが豊岡で世界と出会う音楽祭訪問学校数（累積）	3 校	41 校

具体的手段を実現するための事業		事業概要	担当課
A04-04-01	大韓民国・アメリカ・モンゴルとの交流	諸外国との交流や外国人とのふれあいを通して、外国の歴史文化、生活習慣について理解と認識を深め、国際感覚豊かでふるさとに誇りをもつ人材を育成する。	こども教育課 文化振興課
A04-04-02	子どもたちが豊岡で世界と出会う音楽祭（※）	世界各地で活躍する音楽家との貴重な出会いの機会（学校訪問コンサート等）を創出する。	生涯学習課 （子どもたちが豊岡で世界と出会う音楽祭実行委員会）

結婚促進・多子出産促進に係る戦略 （戦略体系B）

2 結婚促進・多子出産促進に係る戦略

(1) 基本目標

戦略目的B	多くの子どもでにぎやかな家庭を持つ若者が増えている		
	指標	基準値	目標値
出生数		595 人(2014 年)	650 人以上(2019 年)
合計特殊出生率		1.82 人(2008～2012 年平均値)	1.92 人(2019 年)

(2) 講ずべき施策に関する基本的方向

ア 結婚に至るまでの独身者に対する支援を行うとともに、様々な出会いの場や若者が集う場を提供することによって、結婚に結び付ける。

イ 安心して妊娠・出産・育児ができるよう、妊娠から産後・育児を支え、仕事と子育てを両立できる環境を整え、理想の子ども数を持ちたいという希望をかなえる。

(3) 主要手段・具体的手段、重要業績評価指標及び事業

主要手段B01 (2 桁)	若い夫婦の数が増えている		
	重要業績評価指標 (KPI)	基準値	目標値
婚姻数		303 組 (2014 年)	278 組※ (2019 年)

※2019 年予測値 241 組をもとに設定。

主要手段を実現するための具体的手段B01-01 (4 桁)	多種多様な出会いの機会が充実している		
	重要業績評価指標 (KPI)	基準値	目標値
出会い交流機会の参加者数		288 人(2014 年)	576 人(2019 年)

具体的手段を実現するための事業		事業概要	担当課
B01-01-01	婚活応援プロジェクト「はーとピー」への補助	社会福祉協議会に助成して婚活イベントを開催する	ハートリーフ戦略室
B01-01-02	民間団体への婚活・恋活イベント開催補助	民間団体主催の婚活イベントの開催費を 10/10 補助する(上限 10 万円、飲食費除く)	ハートリーフ戦略室
B01-01-03	出会いサポート企業推進	会社内の上司や先輩がサポートメンバーになり、会社の枠を超えて独身社員の交流を促す活動を積極的に行う	ハートリーフ戦略室

主要手段を実現するための具体的手段B01-02（4桁）	交際・結婚に向けた独身者へのきめ細かな支援体制が充実している		
重要業績評価指標（KPI）		基準値	目標値
交際・結婚支援のしくみを利用している人数		56 人(2014 年)	150 人(2019 年)

具体的手段を実現するための事業		事業概要	担当課
B01-02-01	社会福祉協議会の結婚相談所機能拡充	社協の結婚相談所の HP 開設、相談員の研修などにより、より多くの若年層の結婚を促進する	ハートリーフ戦略室
B01-02-02	ボランティア仲人養成	登録された一般市民のボランティア仲人がそれぞれの活動においてお見合いや交際の支援を行う	ハートリーフ戦略室

主要手段を実現するための具体的手段B01-03（4桁）	若者が集い、交流する場が増えている		
重要業績評価指標（KPI）		基準値	目標値
集い、交流する場の情報を入手している人数		未計測(2014 年)	1,000 人(2019 年)

具体的手段を実現するための事業		事業概要	担当課
B01-03-01	SNS を活用した出会いにつながる情報発信	出会いにつながる情報を SNS で若者に届ける仕組みを構築する	ハートリーフ戦略室

主要手段B02 (2桁)	夫婦一組あたりの子どもの数が増えている		
重要業績評価指標 (KPI)		基準値	目標値
児童手当世帯当たりの児童数 (中学生以下／公務員を除く児童手当受給者)		1.75 人 (2014 年)	1.85 人 (2019 年)

主要手段を実現するための具体的手段B02-01 (4桁)	出産への応援がある		
重要業績評価指標（KPI）		基準値	目標値
産後、助産師や保健師等からの指導・ケアを十分に受けることができたと考える母親の割合		75.7% (2015年)	80.0% (2019年)

具体的手段を実現するための事業		事業概要	担当課
B02-01-01	子育て世代包括支援センター	母子保健に係る専門職を配置し、妊娠期から出産、子育て期にわたるまでの総合的相談支援を行う	健康増進課
B02-01-02	産前・産後サポート事業	妊産婦に対して、保健師、育児サポーターなどが家庭訪問や教室により相談支援や育児・家事援助を行う	健康増進課
B02-01-03	産後ケア事業（宿泊型、訪問型）	産後間もない母親の心身の安定を図るため、医療機関への宿泊や助産師の訪問などによるケアを行う	健康増進課
B02-01-04	特定不妊治療費助成・不育症治療費助成	特定不妊治療・不育症の治療等にかかる費用の一部を助成し、経済的負担の軽減を図る	健康増進課

主要手段を実現するための具体的手段B02-02 (4桁)	育児への応援がある		
重要業績評価指標（KPI）		基準値	目標値
市の子育て支援サービスを活用、または頻繁に活用している小学生以下の子どもがいる世帯の割合		48.2% (2014年)	55.0% (2019年)

具体的手段を実現するための事業		事業概要	担当課
B02-02-01	子育て世代包括支援センター（再掲）	母子保健に係る専門職を配置し、妊娠期から出産、子育て期にわたるまでの総合的相談支援を行う	健康増進課
B02-02-03	ファミリーサポートセンター	ファミリーサポートセンターを設置し、会員間での子育て援助活動を支援する	こども育成課

主要手段を実現するための具体的手段B02-03 （4桁）	仕事の両立への応援がある		
重要業績評価指標（KPI）		基準値	目標値
保育所の待機児童数		25人(2014年)	0人(2019年)
放課後児童クラブの待機児童数		55人(2014年)	0人(2019年)

具体的手段を実現するための事業		事業概要	担当課
B02-03-01	ファミリーサポートセンター（再掲）	ファミリーサポートセンターを設置し、会員間での子育て援助活動を支援する	こども育成課

主要手段を実現するための具体的手段B02-04 （4桁）	パートナーの応援（理解と協働）がある		
重要業績評価指標（KPI）		基準値	目標値
パートナーは育児をよくやっていると思う母親の割合		57.8% (2015年)	60.0% (2019年)

具体的手段を実現するための事業		事業概要	担当課
B02-04-01	子育てセンターの交流事業「パパとあそぼうデー」など	子育て世代の交流を深めるため、各子育てセンターが交流遊びや野外活動、子育て講座を開催する	こども育成課（各子育てセンター）

主要手段を実現するための具体的手段B02-05 （4桁）	まちを挙げた子育てへの応援がある		
重要業績評価指標（KPI）		基準値	目標値
子育てを支援する活動に関わっていると回答した市民の割合		17.0% (2014年)	20.0% (2019年)
周りの人が子育てを応援してくれる環境が、豊岡で暮らす価値や魅力と考える市民の割合		14.2% (2016年)	20.0% (2019年)

具体的手段を実現するための事業		事業概要	担当課
B02-05-01	子育て広場整備	旧町単位に乳幼児向けの広場を整備し、住民団体主体で芝生化を進める	ハートリーフ戦略室
B02-05-02	こども支援センター機能拡充	支援を必要とする子どもを学校等で適切に支援し、子どもの育ちを地域で支える連携システムを構築する	こども教育課
B02-05-03	F Mジャングル夢チャレンジ	将来の夢を持ち、夢の実現に挑戦する子どもを育むために、就学児童を対象に夢を発表する機会を持つ	こども育成課

豊岡市地方創生総合戦略第3版
（案）

平成29年6月 日

豊岡市政策調整部地方創生課